

あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランデザイン会議

第 21 回 議事概要

日時	2025年9月2日（火） 13:30～15:30
場所	唐戸市場 2階会議室
参加者（委員）	HBP・KAM 共同事業体：吉田、木村隼、有賀、木村大、清原、安本 専門家：熊谷、長町 事務局：総合政策部 内田、共創イノベーション課 田坂、平山、松永、村上、上野

1. ライトアップの年間計画

市共創イノベーション課、デザイン会議長町委員より資料に基づき説明の上、議論。

- ・ ライトアップ年間計画は、11月に照会をかけた際に、各課所室からいただいた意見を踏まえ、専門家と協議の上、年間スケジュールとカラーを選定したもの。
- ・ 点灯時間は季節に合わせて変動させることも可能。例えば、日没に合わせて開始し、3～4時間点灯するといった運用を想定。
- ・ プログラム設定によって、ゼロの付く日や毎時0分に色を変えろといった演出も設定可能。
- ・ 視察団などが訪れた際に、手動でライトアップを一度に見せることができる「デモンストレーションモード」も設定可能。
- ・ 9月10日を締め切りとして、ライトアップする記念日などの意見を募り、その後、あらためて庁内照会をかけたうえで、年間プログラムを確定し、各公共施設や民間施設に順次協力依頼を行っていく予定。

2. 社会実験について

（1）モバイルファニチャーの設置

市共創イノベーション課、デザイン会議木村大委員より資料に基づき説明の上、議論。

- ・ マスタープランに基づき、エリアの滞在性向上を目的として、岸壁、グランドホテル前等にデザイン性の高いテーブルや椅子などのモバイルファニチャーを設置する社会実験。
- ・ 実験期間中、アンケート調査や稼働率調査を実施します。会議の出席者にも、実際に現地でファニチャーを利用した上でアンケートに協力するよう依頼。
- ・ アンケートのほか、稼働率調査、防犯カメラによる人流調査などを行い、今後の本格導入に向けた課題を検証。

（2）10月以降の社会実験について

デザイン会議木村大委員より資料に基づき説明の上、議論。

- ・ エリアのにぎわい創出と民間事業者の活動を促すためのイベント実施に係る社会実験を行う。
- ・ カイキョーフィーカ：10月11日-13日に開催予定のオープニングイベント。市民をメインターゲットとし、エリアの魅力を伝え、滞留性を高めることを目的とする。
- ・ クリスマスマーケット等：12月にはリゾナーレ下関のオープンに合わせてクリスマスマーケットを開催するほか、冬の期間も様々なイベントを企画し、閑散期のエリア活用を検証する。

3. 令和8年度当初予算について

市関係各課より、あるかぼーとエリアに関連する令和 8 年度予算要求について資料に基づき説明の上、議論。

- 共創イノベーション課：海峡エリアビジョン推進のため、マスタープランの司令塔機能や専門家派遣に関する予算。
- 市場流通課：唐戸市場の将来を見据えた基本構想の策定業務に関する予算。
- 都市計画課：ウォーターフロントエリアの歩行者向け案内サインや屋根付きサインの整備費用に係る予算。
- 交通政策課：周辺駐車場の満車・空車情報を表示する看板の設置など、交通円滑化のための予算。
- 公園緑地課：ロンドンバスの移設を含む、唐戸公園の再整備事業に関する予算。
- 道路河川建設課：南部町の通りや唐戸 5 号線などの道路整備に関する予算。
- 港湾局：唐戸ターミナル事業の事業者公募支援、緑地のデッキ撤去、ボードウォーク改修等に関する予算。
- 環境政策課：脱炭素先行地域づくりの一環として、省エネ設備導入補助金、環境教育コンテンツ開発、エコポイント運用などに関する予算。

各課から説明後、議論。

- マスタープラン推進における行政（ハード整備）と民間（ソフト運営）の役割分担について議論。市民や事業者の意見を吸い上げて整備に反映させる「公民連携」の重要性を強調。
- マスタープランは策定から時間が経過し、社会実験の結果や星野リゾートの進出といった状況変化を踏まえ、現在のマスタープランを総括し、実現可能な計画へと「軌道修正（アップデート）」する必要がある。
- 社会実験や計画において、市民、特にエリア周辺のマンション住民などへの説明や意見を吸い上げるために「住民説明会」などを開催し、広く合意形成を図るべきとの意見が出た。